

平成25年度 第9回病院局経営戦略会議概要

日 時：平成25年12月20日（金） 午後3時～午後4時10分

場 所：県庁10階 病院事業管理者室

出席者：病院局 病院事業管理者，病院局長，総務課長，経営企画課長 ほか
病院 中央病院長，三好病院長，海部病院長，
中央病院副院長，各病院看護局長，各病院事務局長，
鳴門病院理事長，鳴門病院長，事務局長 ほか
県 医療政策課

1 議 題

（1）中央病院と病院局のテレビ会議システムの接続実演について

【説明】中央病院・病院局

- 中央病院と病院局の間で、テレビ会議システムの接続実演を行う。
→「院内の無線環境を利用したタブレット端末等による診療支援」の概要について中央病院より報告。

（2）4病院災害医療連携検討ワーキンググループ（仮称）の設置について

【説明】病院局

- 災害拠点病院である「県立3病院」と「鳴門病院」の4病院が、災害時における役割や相互連携などについて検討するため、実務者レベルで構成するワーキンググループの設置について説明する。

【質疑等】

（中央病院）

- 災害医療はDMATの仕事というイメージがあるが、発災時にはDMATだけではなく、院内の全職員が役割を担えるよう、レベルの底上げを図っておく必要がある。当ワーキングはDMAT以外の職員で構成し、あくまでもDMATはノウハウをアドバイスするなど指導役という立場がいいのではないか。

（鳴門病院）

- 実際に災害医療の現場ではDMATが中心となり活動することになる。DMATもメンバーに加えた形がいいのではないか。

（中央病院）

- 確かに発災時にはDMATが中心にならざるを得ないが、院内の全職員で対応するという意識の醸成が重要。異動もありDMAT以外の災害医療要員の育成が難しいところ。DMATがいない場面でも、院内の職員だけで災害対策本部を立ち上げできるような体制を作っていきたいと考えている。
- DMATについても、将来的には5チーム（現在は実質稼働は2チーム）にしたいと考えているが、DMAT隊員になることで負担がかかるようだとあまりチームを増やせない。何らかのインセンティブがつけられればよいが。